

くすり関連施設基本構想・基本計画【概要】

策定の目的

本市の魅力を一層高め、発信していくためには、市の認知度を総合的・戦略的に高めるシティプロモーションとともに、市民一人ひとりが「富山らしさ」を再認識し、まちに対して愛着や誇りを抱くシビックプライドの醸成が必要です。

300年以上の歴史と伝統を持つ富山売薬は、富山から全国へ商圏を広げ、「くすりといえば富山、富山といえばくすり」といわれるほど有名になり、本市産業の発展の礎となりました。現在も、富山売薬を含む医薬品産業は、富山の代表的な地場産業であり、多種多様なメーカーが集い、高い技術力を有する日本の医薬品生産拠点「薬都とやま」として、発展を続けています。

こうしたことから、「くすり」をテーマとする施設の整備に向けて、有識者等の意見を踏まえ、基本構想・基本計画を策定したものです。

I 基本構想

1 くすり関連施設の基本的考え方

くすり関連施設の基本理念等を以下のとおりとします。

(1) 基本理念

富山のくすりの歴史と文化、精神を継承し、
薬都の未来を市民とともに創造する

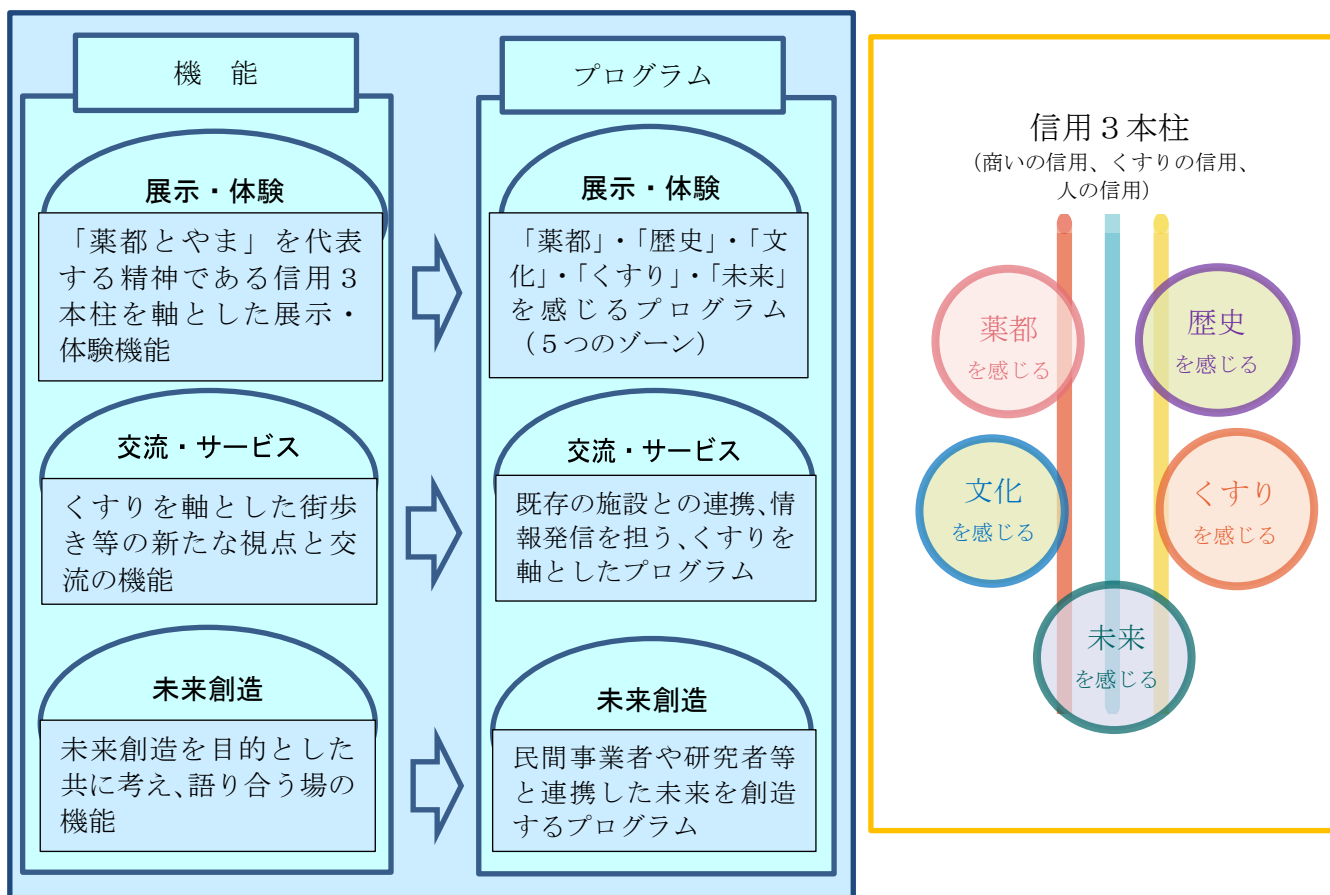
(2) 基本方針

基本理念を実現するための4つの基本方針

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| ① シティブランディング | 「薬都とやま」のブランドイメージを強化する。 |
| ② シビックプライド | 産業の礎を築いた先人の知恵に学び、富山人としての誇りを育む場を創出する。 |
| ③ 賑わい・回遊性 | 中心市街地の賑わいと回遊性を生み出す拠点を創出する。 |
| ④ 産官学民連携 | 産官学民の連携により、「薬都とやま」の未来像を描く。 |

2 くすり関連施設に必要な要素

くすり関連施設の3つの機能・プログラム



II 基本計画

1 基本的考え方

基本理念に基づき、300年以上続く富山のくすりの歴史と文化、大切にされてきた精神を継承しつつ、「信用3本柱」が優れた理念であることを踏まえ、これらを軸として薬都とやまの未来像を考え、共に創造することを大切にします。

2 事業計画

基本構想で定めた3つの機能・プログラムを具体的に実現するため、8つの事業について、実施の可能性を検討していくこととします。

| 機能・プログラム | 事業 | 概要 |
|----------|------|--|
| 展示・体験 | 展示事業 | 歴史・文化等に関する資料展示、体験展示を取り入れた、「薬都とやま」にまつわる様々な展示。 |
| | 解説事業 | 関係機関との連携を図り、解説員による解説のほか、ICTを活用した解説、移動解説。 |

| | | |
|---------|------------|---|
| 交流・サービス | 薬都案内サービス事業 | 窓口やメディアの案内、来館者が自ら情報収集できるような交流案内サービス。 |
| | 催事事業 | 薬都とやまの未来創造のほか、回遊性向上やまち歩き促進にもつながる、様々な催事事業。 |
| | 飲食・物販事業 | 周辺環境と調和し、品質の確保に努めた、飲食・物販。 |
| | 資料収集・活用事業 | 他のくすり関連施設等と連携し、資料収集、寄贈・寄託の受入。 |
| 未来創造 | 情報発信事業 | 「富山のくすり」を広く発信し、魅力を広く伝えられるよう多様なメディアを用いた情報発信。 |
| | 産官学民連携事業 | 産官学民の連携を促進、多様な分野の協働が育まれる事業。 |

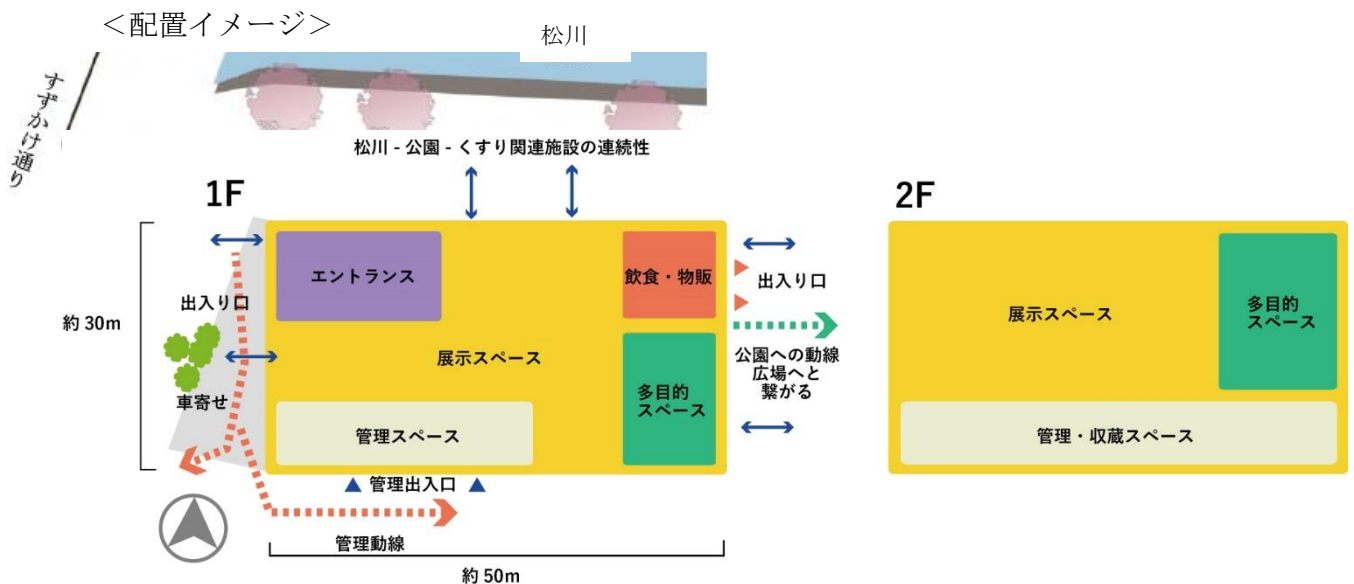
3 施設計画

(1) 施設が有する機能

3つの主要機能「展示・体験機能」、「交流・サービス機能」、「未来創造機能」と管理運営上必要となる2つの維持管理機能「管理機能」、「収蔵機能」

(2) 施設規模（想定）

建築面積 約 1,500 m²（図書館旧本館跡地）
延床面積 約 3,500 m² 階数 2階＋（地下）








4 展示計画

(1) 展示の種類 「常設展示」、「企画展示」、施設外の「移動展示」の3種類

(2) 展示の構成

「薬都とやま」の核である「信用3本柱」を再認識し、誇りとして未来へ引き継ぐことを目的に5つのゾーンで展示を想定します。

| 各ゾーンと内容 | 展示イメージ例 |
|---|---|
| <p>① 薬都を感じるゾーン</p> <p>薬都を感じるまち歩きのおすすめコースの案内やくすり関連施設のシンボル、富山の地域産業・経済とくすりの密接な関わりを示す。</p> |  |
| <p>② 歴史を感じるゾーン</p> <p>時間の流れに沿って富山のくすりの歴史全体を理解できる展示と薬都とやまの歴史のトピックに焦点を当てて利用者に興味をもってもらえるような体験や実物を示す。</p> |  |
| <p>③ 文化を感じるゾーン</p> <p>富山売薬の隆盛とともに発展し、今日では文化・芸術・工芸となったものやエッセイ・小説などの文化を示す。</p> |  |
| <p>④ くすりをを感じるゾーン</p> <p>富山の特徴である和漢薬の原料に多く使われる生薬を学び楽しむ体感やくすり・医薬品産業の体感・理解、パッケージデザインを示す。</p> |  |
| <p>⑤ 未来を感じるゾーン</p> <p>さまざまな世代・背景の市民参加が得られるよう努めながら、薬都とやまの未来創造につながるような学びの場や時事的な情報を示す。</p> |  |

5 管理運営計画

| 方針 | 取り組み |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 市民の参画を促し、市民とともに創造する管理運営 | 市民と協働するしくみづくり、利用者サービスの向上、広報の充実、人材育成 |
| 連携強化のための体制づくり | 多様な主体との連携、専門家等との連携、連携体制の構築 |
| 未来創造事業を実現する管理運営 | 専門家の効果的な活用、産官学民の特色を活かした運営、情報収集・提供・発信 |

6 今後の事業展開について

本基本計画の策定以降、官民連携の可能性に関する調査（PPP導入可能性調査）を実施し、整備運営手法等の検討を行います。また、くすり関連施設の周知、情報収集等に努めながら、着実に準備を進めていきます。